

研修番号

43

保育リーダーゼミナール 開催要項

中堅

4日

オンライン

目 的

指導的立場にある中堅保育者が直面している①人材養成、②組織改革に焦点をあて、特にZ世代と呼ばれる若者への指導法について成果を上げている他分野の組織で用いられる人材養成の手法を手がかりに、リーダー・指導者としての役割を果たすためのスキルの習得を目的とする。

目 標

- ① 保育所・認定こども園におけるリーダーとしての役割を学ぶ
- ② 職場における課題を整理し組織改革につなぐことができる
- ③ Z世代への指導法を習得する
- ④ 他分野の組織における人材養成のしかけを理解し、園での人材養成に用いることができる
- ⑤ 他の保育者の成長を促す関わり・助言・指導ができる

日 程

第1回：令和7年 9月12日（金）10：20～16：35

第2回：令和7年 10月17日（金）10：20～16：35

第3回：令和7年 11月 7日（金）10：20～16：35

第4回：令和7年 12月19日（金）10：20～16：40

※全4回を通じて受講いただく研修です。

会 場

オンライン（Zoom）

※受講者お一人につき1台の端末をご用意ください。

（パソコン、ヘッドセット（マイク付きのイヤホン）推奨）

受講対象

県内の保育所、認定こども園に勤務し、全4回通じて受講できる方で、新任職員や後輩の育成・指導を担う方（例：主任・主幹・副主任やそれに準ずる現場リーダーなど）

申込締切日

8月12日（火）

定 員

24人

受講料

24,800円（非課税）

（受講決定通知時に払込用紙を同封します）

講 師

小口 将典 氏（関西福祉科学大学 社会福祉学部福祉創造学科 教授）

プログラム

※各回、10：20～10：30 はオリエンテーションがあります。

日時	研修科目	研修内容
第1回	10：30～11：50	【講義・グループワーク】 「保育リーダーに求められるものと難しさーいま、保育所が直面している課題ー」
		①この研修で学ぶもの ②保育の多様化の現状 ③リーダーが抱える悩み
		昼食休憩
	12：50～16：30	【講義・グループワーク】 「人材育成の課題」 「保育所保育指針(第5章職員の資質の向上)」 「基本理念と保育内容」 「ハインリッヒの法則」
		①人材養成における課題の共有 ②保育現場に求められている人材養成 ③「保育士」が「保育士」を育てる ④組織マネジメント ⑤ヒヤリハットから事故ゼロへの取り組み
	16：30	振り返り
	16：35	終了
第2回		第1回事後課題の作成
	10：30～11：50	【講義・グループワーク】 「ハラスメントに関する基本的理解」 「自分のイヤな経験から改善を見つける」
		①ハラスメントの種類 ②ハラスメントの具体例 ③ハラスメントをしない職場の風土づくり
		昼食休憩
	12：50～14：20	【講義・グループワーク】 「Z世代へのかかわり」 「世代間ギャップはなぜ起こるのか」
		①「今どきの若者」はどの時代にもある問題 ②「正しさ」と「正しさ」のぶつかり合い ③精神論は通用しない
	14：20～15：20	【講義】 「ディズニーリゾートの人材養成」 「リーダーに求められるもの」
第3回		①目指すべき人材養成 ②保育における価値と職業倫理 ③褒める文化がもたらすもの
	15：20～16：30	【演習】 「コミュニケーション技術」 「職場におけるコミュニケーションの流れ」 「カレーライス の 作り方」
		①よいリーダーになるための手がかり ②話しかけにくい雰囲気を出していませんか？ ③有効な叱り方 ④「気づき」を促す言葉かけ
	16：30	振り返り
	16：35	終了
		第2回事後課題の作成
	10：30～11：50	【講義・グループワーク】 「組織における問題点の共有」
第4回		①職場の課題整理 ②保育内容の見直し ③組織改革に向けて
		昼食休憩
	12：50～14：50	【講義・グループワーク】 「組織の改善に向けての取り組み」 「組織目標の設定」
		①PDCA サイクルによる組織改革 ②組織改善の理解 ③問題の構造を分析する
	14：50～16：30	【グループワーク】 「改善に向けての取り組み」
		①改善案の企画書作成 ②ノンコンタクトタイム
	16：30	振り返り
第5回	16：35	終了
		第3回事後課題の作成
	10：30～11：50	【講義・グループワーク】 「キャリアデザインを意識した人材養成」 「人材養成の3本柱」
		①人材養成の手段 ②社会人・組織人・専門職人
		昼食休憩
	12：50～13：50	【講義・グループワーク】 「人材養成プログラムの作成①」
	13：50～15：50	【グループワーク】 「人材養成プログラムの作成②」
第6回		①毎月の人材養成目標 ②人材養成の優先順位を考える
	15：50～16：30	【全体共有】 「学びの共有」
		①保育をどう伝える？ ②スーパービジョン・OJT の手法
	16：30	振り返り／行動目標の設定
	16：40	閉講
		修了レポートの作成・提出

修了レポートの作成

研修全日程を受講後、研修を通して得た学び・気づきと今後の実践について、修了レポートを作成いただきます(修了レポート集を作成し、全受講者にデータで配付します)。

申込方法及び受講決定

- ① お申込みにあたっては、当研修センターが定める「研修実施基本方針」「研修受講ルール」が適用されますので、あらかじめ内容をご確認ください。お申込みが完了した場合は、これらに同意いただいたものとして取り扱います。
- ② 研修センターホームページの当研修申込フォームに必要事項を入力し、お申込みください。
入力されたメールアドレスに「完了通知メール」が返送されますので、必ずご確認ください。
- ③ 受講の決定は、申込締切日後、申込事業所宛に通知(文書)を郵送してお知らせします。文書が届かない場合は、お手数ですが研修センターまでお問い合わせください。
- ④ 受講料は、決定通知に同封の払込用紙にて、期限までに郵便局でお支払い願います。
- ⑤ お申込み後のキャンセルを希望される場合は、研修企画部までご連絡ください。

申込・問合せ先

福祉人材研修センター 研修企画部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通 7-28-33 TEL：078-367-3001／FAX：078-367-4522

【「研修実施基本方針」「研修受講ルール」をご確認ください】

兵庫県福祉人材研修センター（以下、研修センター）では、下記のとおり「研修実施基本方針」・「研修受講ルール」を定めて運営しています。ご受講にあたっては、下記の「基本方針・受講ルール」が適用されますので、ご同意のうえ、お申し込みください。詳細は、当研修センターホームページをご確認ください。

※それぞれの二次元コードを読み込むと、
ホームページ内の各ページへアクセスが可能です

【研修実施基本方針】



【研修受講ルール】



※できる限りホームページからのお申込みをお願いいたします。

令和7年 月 日

令和7年度 保育リーダーゼミナール 受講申込書（FAX 用）

■下記の項目に必要事項をご記入ください。

（令和7年8月1日現在）

受講者氏名		フリガナ	
法人名			
勤務先名称 (施設・事業所名)			
勤務先住所 (受講決定送付先)		(〒 -)	
年齢層 (いずれかに○印)		・ 10 歳代 ・ 20 歳代 ・ 30 歳代 ・ 40 歳代 ・ 50 歳代 ・ 60 歳以上	
勤務年数		年	役職名
担当業務			
所持資格 (担当業務に関するもの)			
施設種別 (受講者が所属する種別を 1つ選択してください)		保 育 1 保育所 2 認定こども園	
この研修で学びたい事項 (箇条書きで3項目程度) 【必須】			
連絡先	フリガナ		
	担当者名	TEL	
		FAX	
	E-mail 【必須】		
メールマガジン登録		連絡先 E-mail を「兵庫県福祉人材研修センターメールマガジン」へ登録を希望される方は、下記にチェックを入れてください。 ☐ メールマガジンへの登録を希望します	
受講後フォローアンケートの 意向確認【必須】		終了3カ月後をめぐに「受講後フォローアンケート」を上記の E-mail アドレスに送信します (回答時間は5分程度を想定)。回答への協力が難しい方は、下記にチェックを入れてください。 ☐ 「受講後フォローアンケート」への回答を辞退します。	
備考欄		上記以外で、研修受講時に配慮等が必要な事項がある場合は、この欄にご記入ください。	

※ 受講申込者1人につき1枚ご記入ください。

FAX 送信先: 078-367-4522（兵庫県福祉人材研修センター）